

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育内容総論 英語表記：Studies of Nursing(Introduction Nursing)		単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：三友玲子
ナンバリング：2302			担当形態：単独
科目/系列	/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/保育内容総論		
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解できる。			
2. 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解できる。			
3. 子どもの生活や社会的背景や保育内容の歴史の変遷を踏まえ、保育内容の基本的な考え方を子どもの発達や実態に備えて、保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)につなげて理解できる。			
【授業の概要】			
保育内容の歴史、保育所保育指針における「保育の目標」等の保育所保育指針の考え方とその構造を理解した上で「保育内容」と関連付けて、具体的に保育を展開する方法を、講義及び演習によって学ぶ。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：保育の基本及び保育内容の理解		1. 保育所保育指針の熟読(60分程度)	
第2回：保育の全体構造と保育内容		2. 振り返りシート作成(60分程度)	
第3回：保育内容の歴史の変遷とその社会的背景		3. 我が国の園の歴史調べ(60分程度)	
第4回：子どもの発達や生活に即した保育内容 (乳児～3歳未満)		4. シート3歳未満児作成(60分程度)	
第5回：子どもの発達や生活に即した保育内容 (3歳以上・異年齢)		5. シート3歳以上児作成(60分)	
第6回：個と集団の発達を踏まえた保育		6. テーマについて予習復習(60分)	
第7回：養護及び教育が一体的に展開する保育内容		7. 保育所保育指針の熟読(60分)	
第8回：環境を通して行う保育		8. 環境を通して行う保育の意味の考察(60分程度)	
第9回：生活や遊びによる総合的な保育について		9. 園の生活や遊び調べ	
第10回：家庭や地域、小学校などとの連携を踏まえた保育 (長時間保育を含む)			

第1 1回：特別な配慮を要する子どもの保育 第1 2回：多文化共生の保育 第1 3回：保育における観察と記録・保育計画の立案 第1 4回：保育計画を実践 第1 5回：保育計画の実践と振り返り 定期試験：なし	(60分) 10. 地域・小学校との連携調べ(40分) 11. 特別な配慮を要する子どもの保育の調査(60分程度) 12. 多文化保育調べ(50分程度) 13. 保育計画立案・準備(90分) 14. 保育計画実践・準備(90分) 15. 実践を振り返りPDCAについて理解しレポートにまとめる(120分)提出
【授業の方法】 演習。小テストをしてフィードバックする。	
【テキスト】 改訂新版『マンガとアクティブラーニングで学ぶ保育内容総論』開 仁志 編著 教育情報出版 その他資料 随時配布。	
【参考書・参考資料等】 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）、その他配布資料。	
【学生に対する評価】 ルーブリックを活用し評価を行う。 授業内提出物・制作課題・課題レポート（50%）、実践発表（30%）、授業参画度（20%）。	
【履修上の注意】 予習・復習を必ず行い、内容を理解した上で授業に臨むこと。積極的に授業に参加して活発な発言や演習を行うこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：元幼稚園教諭
【実務経験を生かした教育内容】 保育者としての経験を活かし、保育者に求められる基礎的な知識と技術、現代社会における保育士の課題、クラスづくりなどを学生が具体的に考え、実践、評価できる授業を行う。	